

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>・基礎的・基本的な知識と技能を習得し、課題発見・解決に向けた協働的な学びから社会的・心理的な成長を促す。</p> <p>・主体的に学ぶ意欲を向上させ、多面的・多角的な考えに基づいて、自分の考えを適切に伝え発信する力を養う。</p>	<p>①ICT機器を活用した授業づくりを研究し、評価方法を確立し、組織的な授業改善に努める。</p> <p>②授業のUD化を進めることで障害の有無に関わらず共に学ぶ意識を向上させ、課題解決力を身に付けることができる。</p>	<p>①動画やオンライン授業等、ICT機器を活用した授業研究と指導と評価、生成AI利用への生徒の正しい理解を検討する。</p> <p>②本校生徒にとって必要な学校のUD化を検証し、必要な対応を検証するとともに組織的に課題の改善を図る。</p>	<p>①生徒による授業評価で「授業以外における学び」や講義型から脱却した授業の研究ができたか。</p> <p>②授業のUD化を図れたか。また、学校全体でUD化を推進することができたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>・変化する社会と生徒への理解を深め、いのちを大切にす相談と支援体制により、すべての生徒に最適な支援を行う。</p> <p>・生徒主体の高満足度な部活動に向けた取組みを行うとともに、部活動が地域参加や生徒会行事等の活性化を図るようにする。</p>	<p>①多様性や価値観の違い、他者を思いやり尊重する心を育むとともに、支援を要する生徒について、ケース会議や外部機関との連携を通じて、健全な成長を支援する。</p> <p>②多くの生徒が部活動に興味を持てるように、部活動オリエンテーションや部活動の活動状況等を発信していく。</p>	<p>①Coを軸に学校全体で定期的な情報共有を行う。緊急時にはCoや生徒支援Gを中心に体制を構築し、SCやSSWと連携を図り、教職員全体で生徒への支援に対応する。</p> <p>②生徒が積極的に参加できる部活動の在り方について検討するとともに、生徒の活動状況を、校内外に掲示物やSNS等を活用して紹介していく。</p>	<p>①Coを軸に各学年との間で、定期的に情報を共有することができたか。緊急時には速やかに体制を構築するとともに、教職員全体に適切な情報を提示し、活用することができたか。</p> <p>②個々の生徒の特性を把握し、部活動の運営に反映できたか。活動状況をHP、X(旧 Twitter)、classroom や掲示物等で発信することができたか。</p>
3	進路指導・ 支援	<p>・蓄積した進路データを分析してエビデンスに基づく「キャリア教育実践プログラム」により、生徒の進路目標を高めるとともに、進路希望の実現に向けて支援する。</p> <p>・自分の進路と取組むべき課題に向き合い、他者と協働して社会に貢献する姿勢を育成する。</p>	<p>①生徒自ら積極的に目標設定を行い蓄積した進路データを活用し「キャリア教育実践プログラム」を通じて目標が実現につながる支援を行う。</p> <p>②学校生活の中で周りの人との助け合いや協力をすることにより、周りの人への思いやりや社会に貢献する姿勢を養う。</p>	<p>①民間Web教材や模擬試験を有効に活用する。生徒から提出された受験報告の蓄積や進路関係業者等の受験報告を活用していく。</p> <p>②総合的な探究の時間、学校行事やインターシップ等を通じて他者との協働・課題解決能力の向上につなげる工夫をする。</p>	<p>①民間Web学習教材の有効活用や模擬試験等の受験者数及び進路マニュアルが有効活用できたか。</p> <p>②生徒が自ら設定した課題の探究を進め、発表やアンケート等で、評価を得ることができたか。看護体験やインターシップの参加生徒が増加したか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	<p>・地域資源を活用して学校の教育活動の充実を図るとともに、外部に配信することで地域から信頼される安心・安全な学校に取り組む。</p> <p>・開かれた学校づくりを行い、学校における共生社会の実現等を発信する。</p>	<p>①学校運営協議会の意見を有効に活用し、地域に開かれた学校の具現化を図り、取り組みを外部に発信できるようにする。</p> <p>②小学校や福祉施設等との交流を推進することで、地域の人々とともに歩む学校づくりの推進を図る。</p>	<p>①学校運営協議会の意見を全職員で共有し、それを参考に学校の諸活動の改善を図り、外部に発信する。</p> <p>②地域との交流を推進し、その取り組みを外部にSNSを活用して発信していく。</p>	<p>①学校運営協議会と学校が有意義な意見交換を行うことにより、地域との協働的な活動を行うことができたか。</p> <p>②地域との交流を計画的に行うことができたか。SNSを活用して、取り組みを効果的に発信することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>・インクルーシブ教育実践推進校として、共生社会の実現に引き続き取り組む。</p> <p>・「いのち」を大切に、健康や安全を心がけ、多様な他者も尊重する心を醸成する。</p> <p>・教職員のキャリアを高め、働き方改革を促進するとともに、生徒と向き合う時間を確保する。</p>	<p>①生徒、職員双方にインクルーシブ教育実現のための意識付けを行い、校内外において共生社会の実現を図る。</p> <p>②学校が安心・安全な学びの場所になるよう教育環境を整備し、マニュアルを活用した災害時対応の防災訓練を実施する。</p> <p>③現状の働き方の問題点について把握することにより、働き方改革につなげられるようにしていく。</p>	<p>①校内研修や相談窓口の活用等を通し、校内にいる一人ひとりが主体的に共生社会に参画できる意識付けを行う。</p> <p>②マニュアルを基にした防災訓練を計画的に行い、マニュアルの問題点や改善点の見直しができるようにする。</p> <p>③職員から具体的な働く上での問題点についての意見を集約し、対応可能な事象については迅速に対応する。</p>	<p>①生徒は互いに前向きな声掛けをしあう様子が見られたか。職員は支援の観点から授業づくりを進めることができたか。</p> <p>②計画的に避難訓練を行うことができたか。マニュアルの改善点等の見直しを図ることができたか。</p> <p>③働く上での問題点を集約することができたか。対応可能な事象について、改善を図ることができたか。</p>